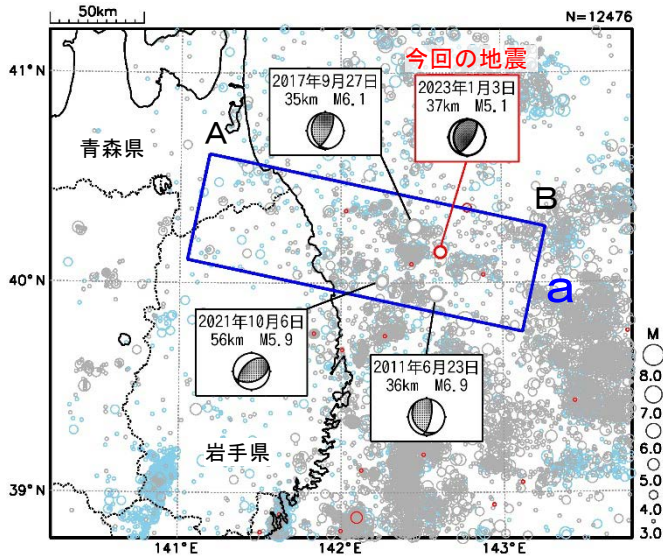
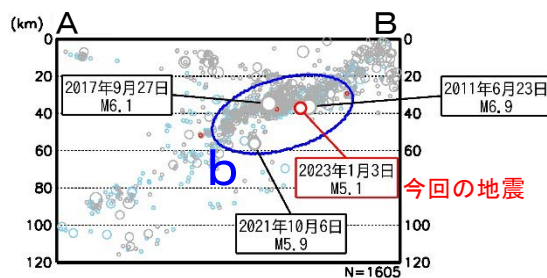


1月3日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年1月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2023年1月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図（A-B投影）

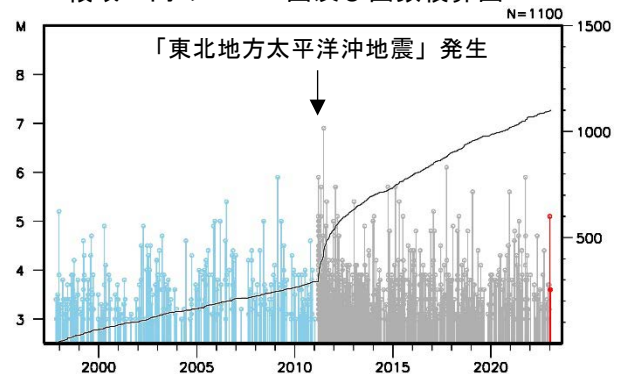


2023年1月3日16時08分に岩手県沖の深さ37kmで $M 5.1$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

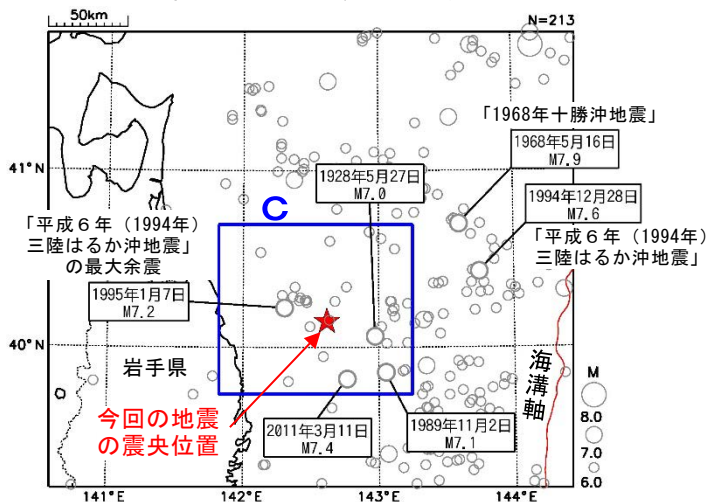
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は $M 5.0$ 以上の地震が時々発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2011年6月23日に発生した $M 6.9$ の地震（最大震度5弱）では住家一部破損1棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震である $M 7.2$ の地震（最大震度5）が発生した。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年1月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

